I·O DATA

Power Mac G4,G3 対応

Power Mac G4,G3用 内蔵 ATAPI MOドライブ

MOF-AB640S/G

取扱説明書

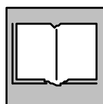
株式会社アイ・オー・データ機器

79844-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

MOF-AB640S/G 取扱説明書
2000.Aug.01 79844-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

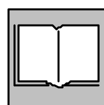


お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

● 呼び方

呼び方	意　味
Macintosh	Power Mac G4,G3(Blue and White)の総称



もくじ

はじめに

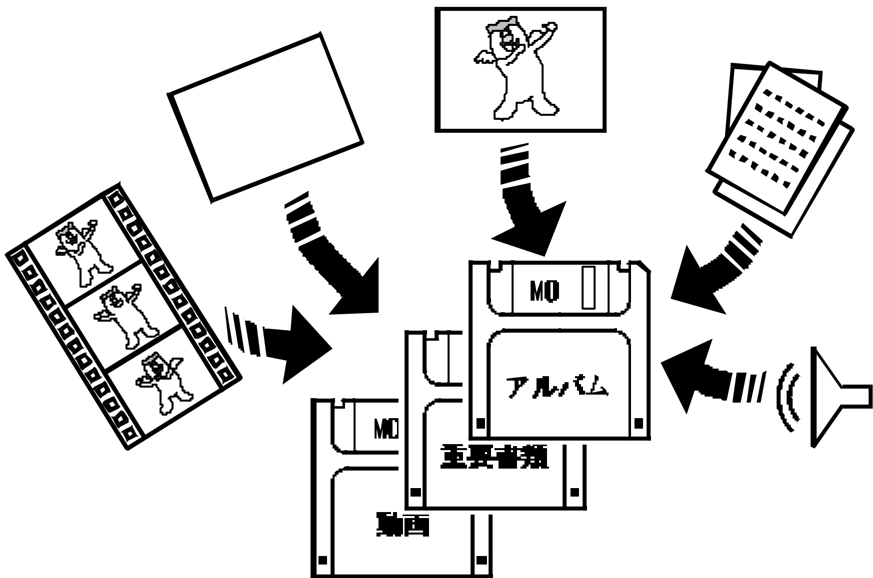
本製品を使えば	本製品の使用例を紹介します。(2ページ)
▼	
箱の中には	箱の中のものを確認します。(4ページ)
▼	
動作環境	本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。(6ページ)
▼	
ユーザー登録しよう	ユーザー登録をしてください。(7ページ)
▼	
取り扱いおよび使用上の注意	本製品を使うにあたって、注意しなければならないことを説明します。(8ページ)

本製品を使えば

本製品は、以下のようにお使いいただくことができます。

◆ 大事なデータの保存・バックアップに

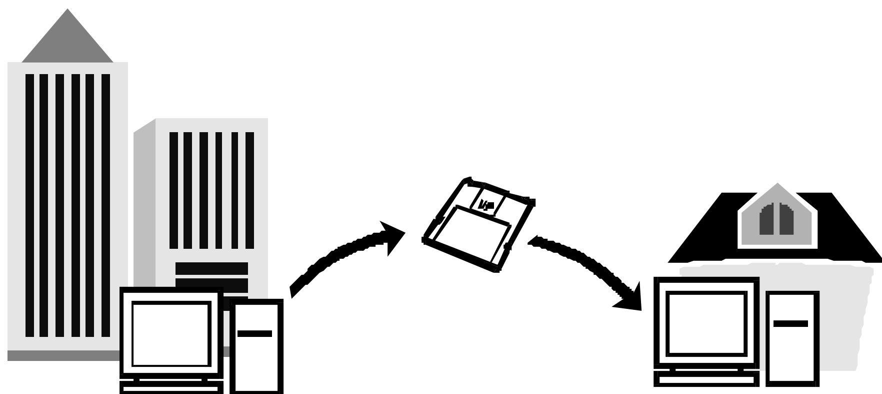
仕事のデータ、デジタルカメラで撮った画像データ、キャプチャした動画などをMOディスクに入れておけば、ハードディスクの容量が少なくなるということがなくなり、誤ってパソコンのデータが消えてしまったときも安心です。
また、ラベルを貼っておけばデータの整理も簡単です。



◆ 大きなデータの持ち運びに

ワープロ等で作った書類データや、デジタルカメラの画像データ等をほかの場所に持っていきたいとき、MOディスクに入れて持ち運べばOK。

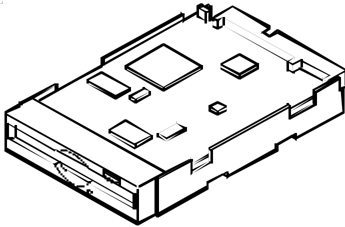
フロッピーディスクよりはるかに容量が大きいので安心です。



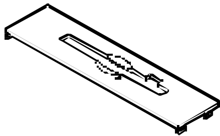
箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。
□にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

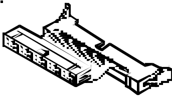
お願い：箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。



□ **内蔵MOドライブ(１個)**



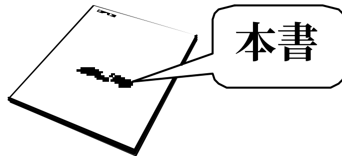
□ **フェースプレート(１個×２種類)**



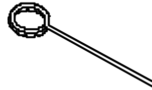
□ **延長リボンケーブル（１本）**



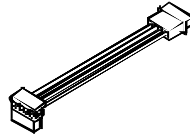
□ **取り付けネジ（４個）**



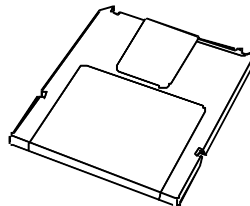
☑ **MOF-AB640S/G取扱説明書(１冊)**



□ **強制イジェクト・ピン(１本)**



□ **延長パワーケーブル(１本)**

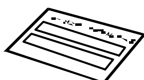


□ **MOディスク(サービス品：１枚)**
［640Mバイト：未フォーマット］

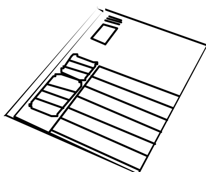


□ **B'sCrew 3 Lite for Macintosh（1式）**

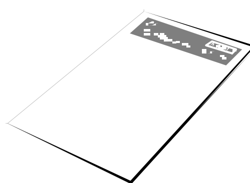
以降「B'sCrew 3 Lite」と呼称します。



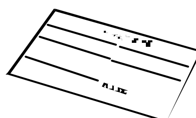
□ **ハードウェアシリアルNo.シール（1枚）**



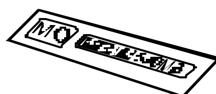
□ **ユーザー登録カード（1枚）**



□ **安全で快適にお使いいただくために（1冊）**



□ **ハードウェア保証書（1枚）**



□ **型名・容量シール（1枚）**

動作環境

●対応機種および対応OS

対応機種	対応OS（日本語版のみ）
Apple **Power Mac G4,G3(Blue and White)**	Mac OS 8.5.1/8.6/ 9/9.0.2/9.0.3/9.0.4

本製品はZipドライブベイに取り付けます
本製品を取り付けるには、Zipドライブベイに空きが必要です。
Zipドライブベイに空きが無い場合は、Zipドライブベイに取り付けてあるドライブを取り外す必要があります。

●対応MOディスク

128M,230M※,540M※,640M※バイト

※　オーバーライト対応MOディスクを含む。

ユーザー登録しよう

ここではユーザー登録について説明します。

本製品のユーザー登録について

1 「ハードウェアシリアルNo.シール」を所定の位置に貼ります。

添付のハードウェアシリアルNo.シールを、ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

2 ユーザー登録を行います。

ユーザー登録にはオンライン登録と、ハガキ登録の2通りがあります。
いずれかの方法で必ず登録を行ってください。

●オンライン登録(ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/)

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。
I-O DATA ホームページに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックし、画面の表示にしたがって必要事項を記入して、ユーザー登録を行ってください。
オンライン登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

●ハガキ登録

ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社までご返送ください。

- **弊社では、サービス窓口でソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っておりますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録を行ってください。**
- **ハガキ登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。**

B'sCrew 3 Liteのユーザー登録について

B'sCrew 3 Lite for Macintosh(一式)の中に入っている「**ビー・エイチ・エー社ユーザー登録ハガキ**」にてユーザー登録を行ってください。

取り扱いおよび使用上の注意

添付の『安全で快適にお使いいただくために』も併せてご覧ください。

1 使用する際の注意

● **640MバイトのMOディスクについて**

・Power Mac G4,G3(Blue and White)では、640MバイトのMOディスクから起動することはできません。

● **パソコンの電源を切る場合**

・パソコン本体の電源を切る場合は、本製品のアクセスランプを見て点灯・点滅していないことを確認してください。その後、電源を切ってください。

● **MOディスクの使用について**

・アクセスランプ点灯中は絶対にアクセスランプを押さないでください。記録されたファイルの読み書きができなくなったり、MOディスクが傷つき、使用不可能になる場合があります。

・記録されたデータやプログラムファイルは、誤動作や故障等によってファイルが破壊された場合、復旧することができません。大切なファイルはあらかじめバックアップをする様にしてください。

2 取り扱い上の注意

火災・感電・動作不良の原因になります。

● **本製品の取り扱いについて**

・濡れた手などで本製品を取り扱わないでください。

・本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、本体内部が結露する場合があります。そのまま使用すると誤動作や故障の原因となる場合があります。時間をおいて、結露がなくなってから使用してください。

・本体内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。

・本製品は書き込み時、非常に高温になります。そのため、長時間にわたってMOディスクのフォーマットや書き込み作業を行うと、ドライブの安全装置が働き、処理が中断されてしまう場合があります。このような場合は、一旦システムを終了してパソコン本体の電源を切り、ドライブが冷えるまでしばらくお待ちください。

・空気中に浮遊するゴミ・チリ、およびタバコの煙などにより、性能が低下することがあります。製品の性能を維持するために下記のクリーニングキットを別途お買い求めの上、3ヶ月に1度を目安にヘッドレンズのクリーニングを行ってください。

富士通製　「光磁気ディスククリーニングカートリッジ」

（商品番号 0240470）

● **MOディスクの取り扱いについて**

・MOディスクのシャッターを開けて、内部に直接ふれないでください。

・MOディスクのシャッター部に、ラベルを貼らないでください。

・MOディスクを本製品にセットする際、MOディスクのシャッター部分を持たないでください。人体に溜まった静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となることがあります。

3 本製品の修理は弊社修理係にご依頼ください。

MEMO

使えるようにしよう

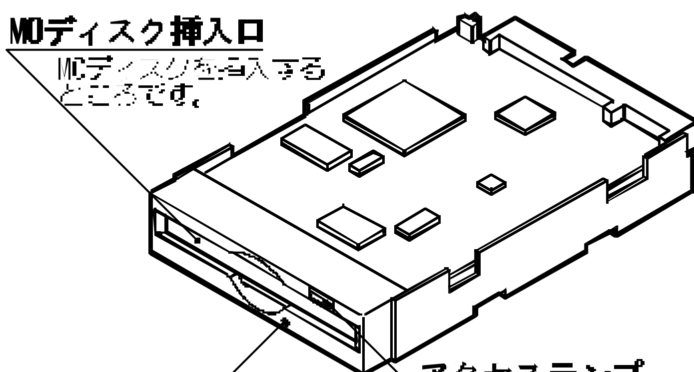
ここでは本製品をMacintoshシリーズで使用する際の設定について説明します。

各部の名称・機能	本製品の各部の名前と機能を説明します。(12ページ)
▼	
取り付けよう	本製品をパソコン本体に取り付けます。(13ページ)
▼	
インストールの前に	インストールする前に行う手順について説明します。(23ページ)
▼	
B'sCrew 3 Liteをインストールしよう	本製品を使うために、B'sCrew 3 Liteをインストールします。(24ページ)

各部の名称・機能

ここでは、本製品の各部の名前と機能を説明します。

● 前面



MOディスク挿入口

MOディスクを挿入するところです。

アクセスランプ

アクセス中は緑色に点灯します。

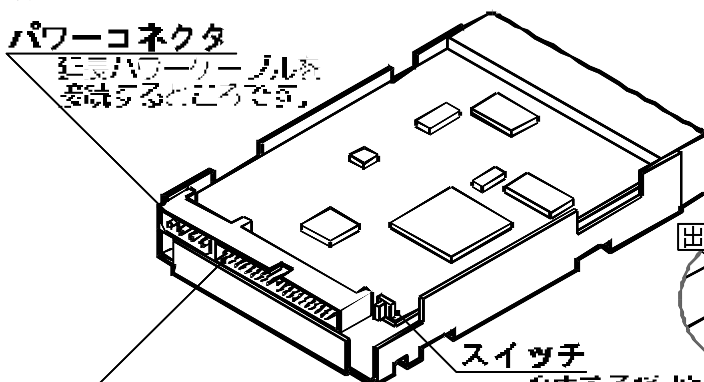
強制イジェクトホール

MOディスクを強制的に取り出すときに使います。

通常は使用しないでください。

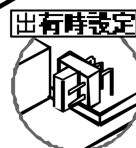
参照 「MOディスクを取り出せない」（37ページ）

● 背面



パワーコネクタ

延長パワーケーブルを接続するところです。



スイッチ

変更する必要はありません。

リボンコネクタ

延長リボンケーブルを接続するところです。

取り付けよう

ここでは、本製品を取り付ける手順について説明します。

本手順内のイラストについて
　本手順内のイラストは一例です。お使いのパソコンと異なる場合があります。
用意するもの
- MOドライブ
- フェースプレート
- 延長リボンケーブル
- 取り付けネジ(4個)
- 延長パワーケーブル

1 パソコンの電源が入っている場合は、電源を切ります。

電源を切った後、5分ほど放置してパソコン内部を冷ましてください。

2 パソコンからすべてのケーブルを取り外します。

3 静電気を取り除きます。

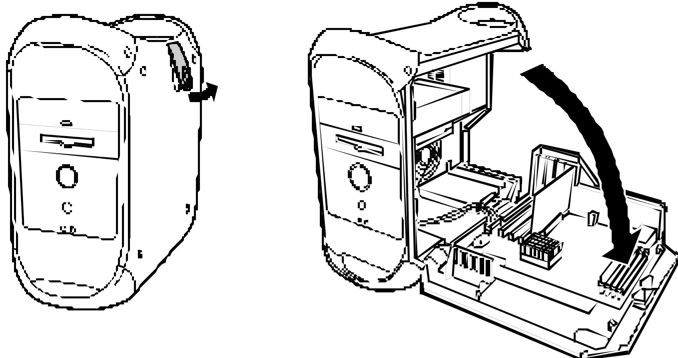
アースされている金属製のものに触れ、静電気を取り除きます。
静電気を取り除いた後は、静電気の発生を防ぐために、作業を終えるまでは動き回らないでください。

4 柔らかい布などを側面パネルの横に置きます。

側面パネルを上に載せるために、柔らかい布などを側面パネルの横に置きます。

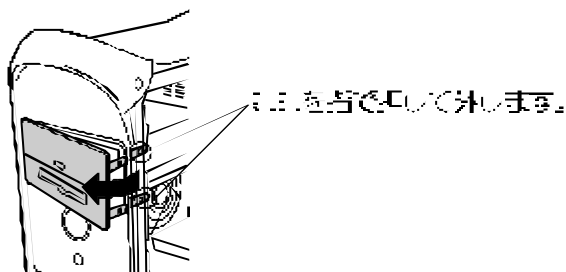
5 側面パネルを開き、柔らかい布などの上に置きます。

側面パネルの固定具を引き出し、側面パネルを平らな場所におろします。



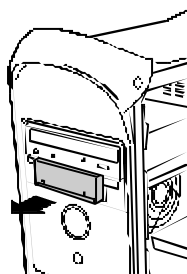
6 ドライブカバーを取り外します。

金属製の枠に隠れているプラスチック製の「とめ具」を2つ外して、ドライブカバーを取り外します。



7 金属製のカバーが付いていたなら、取り外します。

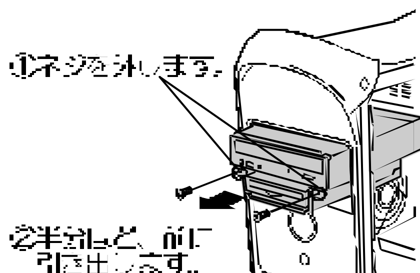
ドライブキャリアに金属製のカバーが付いていたなら、引いて取り外します。



8　ドライブキャリアを半分ほど前にずらします。

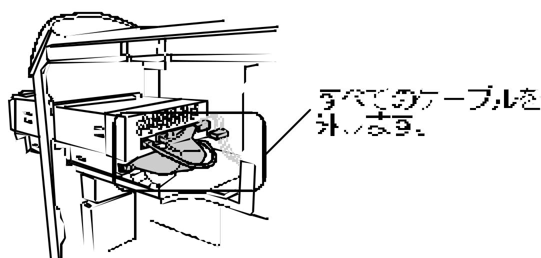
ドライブキャリアを固定しているネジを2つ外します。

ドライブキャリアを半分ほど前にずらし、ドライブの後ろのケーブルに手が届くようにします。



9　ドライブのケーブルをすべて取り外します。

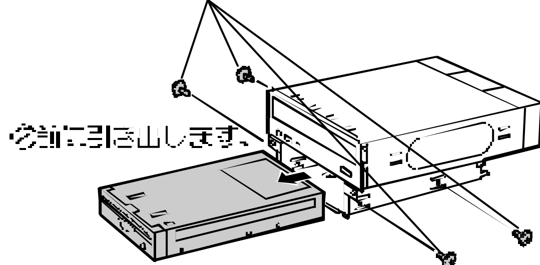
すでにドライブキャリア内に取り付けられているドライブを確認し、それらに接続されているケーブルをすべて取り外します。



10　ドライブキャリアをパソコンから取り出します。

11 Zipドライブがある場合、Zipドライブを取り外します。

ドライブキャリア側面のネジを4つ取り外し、Zipドライブを取り外します。

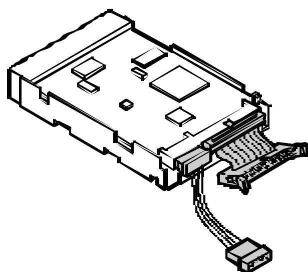


取り外したZipドライブ・ネジについて

取り外したZipドライブ・ネジはもう使いません。
お使いになるときまで、大切に保管しておいてください。

12 本製品にケーブルを接続します。

本製品に延長パワーケーブルと延長リボンケーブルを接続します。
延長パワーケーブルは、ケーブルに垂直になっているコネクタを本製品に接続してください。
【ケーブル接続時の注意事項】(39ページ)も合わせてご覧ください。

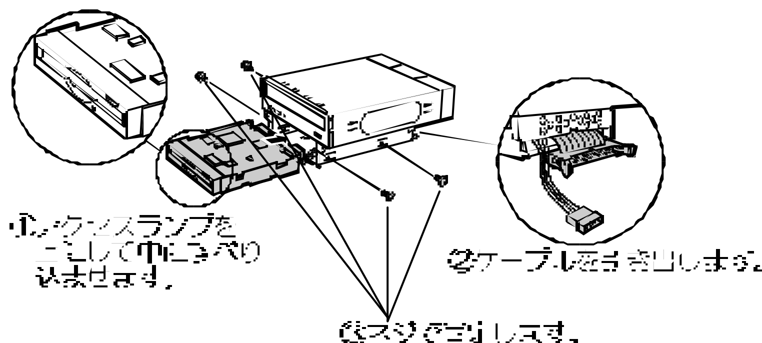


13　ドライブキャリア内に本製品を取り付けます。

アクセスランプを上にした本製品を、ドライブキャリアにすべり込ませます。

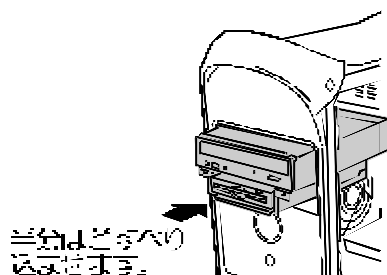
本製品に取り付けたケーブルが後ろから出るようにしてください。

ケーブルが出たことを確認したら、側面を添付のネジで固定します。



14　ドライブキャリアを、パソコンに半分差し入れます。

ドライブキャリアをパソコンに、半分差し入れてすべり込ませ、ドライブの後ろのケーブルに手が届くようにします。



15 ケーブルをすべてのドライブに接続します。

ケーブルを以下の順に接続します。

※【ケーブル接続時の注意事項】(39ページ)も合わせてご覧ください。

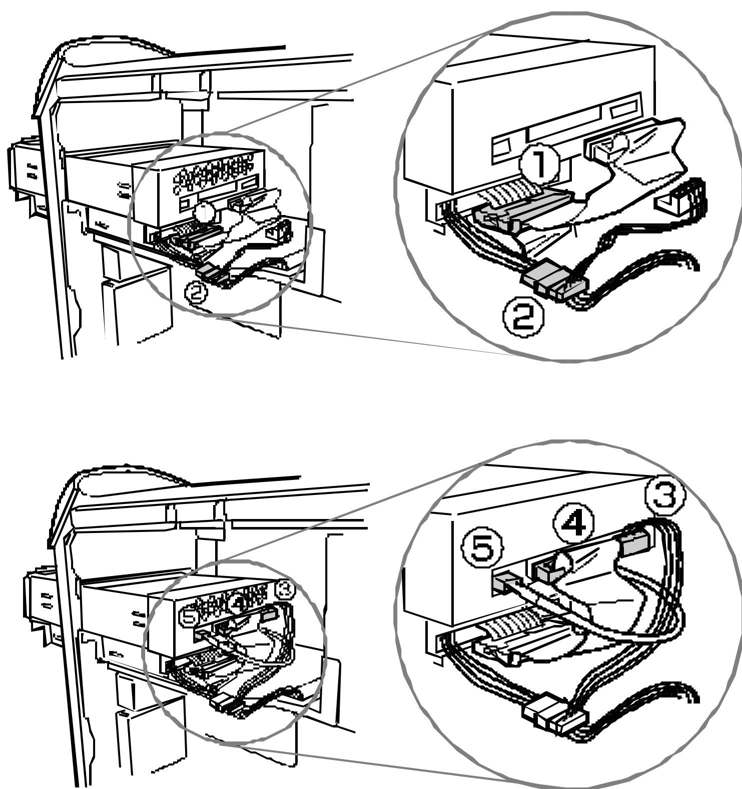
①リボンケーブルに付いている中間コネクタを、本製品に取り付けた延長リボンケーブルに接続します。

②パワーケーブルに付いている中間コネクタを、本製品に取り付けた延長パワーケーブルに接続します。

③パワーケーブルの末端をCD-ROM(DVD-ROM)ドライブに接続します。

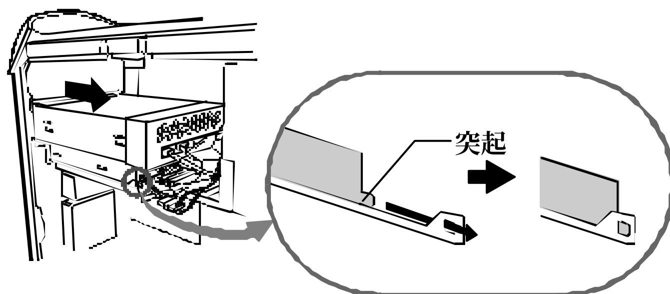
④リボンケーブルの末端をCD-ROM(DVD-ROM)ドライブに接続します。

⑤サウンドケーブルがある場合は、CD-ROM(DVD-ROM)ドライブに接続します。



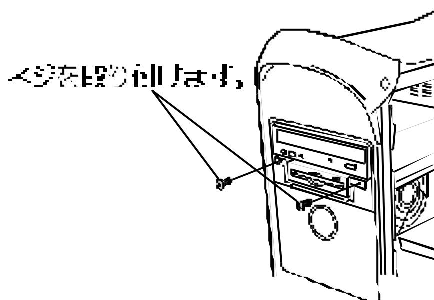
16 ドライブキャリアを、すべて差し入れます。

ドライブキャリアの突起がパソコン内のスロットにかみ合うように差し入れます。接続したケーブルが傷つかないようにご注意ください。



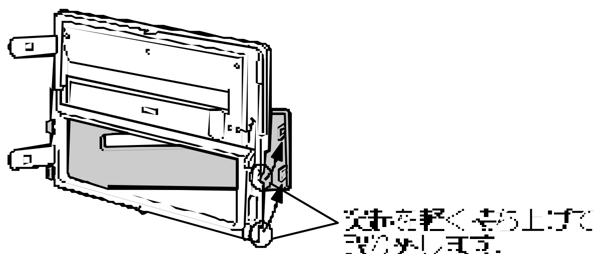
17 ドライブキャリアを、固定します。

取り外したネジを取り付けて、ドライブキャリアを固定します。



18 ドライブカバーからフェースプレートを取り外します。

取り外したドライブカバーから、突起を持ち上げてフェースプレートを取り外します。

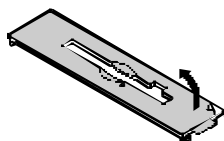


突起を割らないようにご注意ください

突起はプラスチック製のため、力を入れすぎると割れることがあります。
突起を割らないように、気を付けて持ち上げてください。

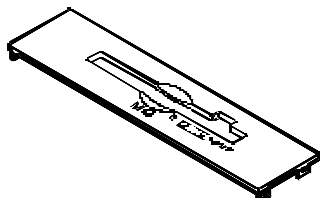
19 添付のフェースプレートのビニールシートを取り外します。

本製品に添付されているフェースプレートから保護用のビニールシートを取り外します。



20 添付のフェースプレートに型名・容量シールを貼ります。

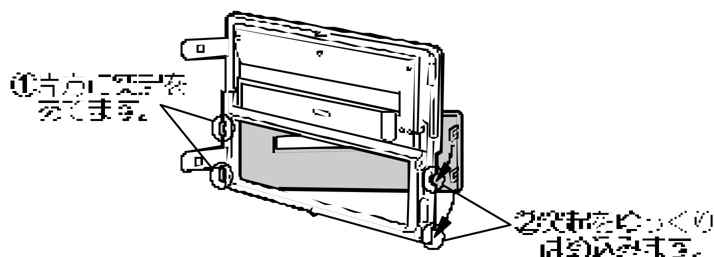
本製品に添付されているフェースプレートにお好みで型名・容量シールを貼ります。



—貼付け例—

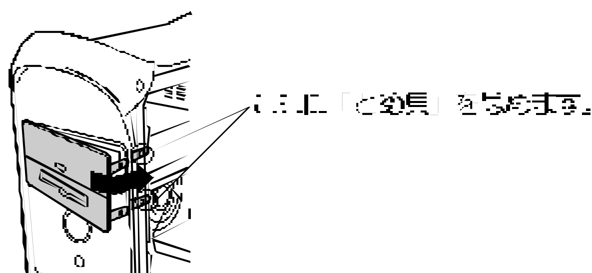
21 添付のフェースプレートをドライブカバーに取り付けます。

本製品に添付されているフェースプレートをドライブカバーに取り付けます。片側の突起をドライブカバーにあて、その後でもう片方の突起をはめ込んでください。



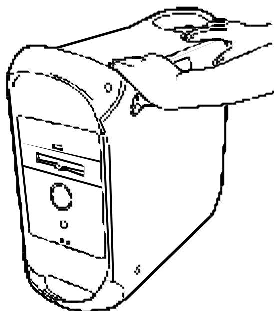
22 ドライブカバーを取り付けます。

取り外したのとは逆の手順でドライブカバーをパソコンに取り付けます。ドライブカバーの左側を当て、その後でもう片方を差し入れます。



23 側面パネルを閉じます。

側面パネルを持ち上げ、上の2つのネジに親指を当てながら強めに押し、しっかりと閉じます。



24 パソコンにすべてのケーブルを接続します。

取り外したケーブルをすべて取り付けます。

25 パソコンの電源を入れます。

インストールの前に

添付の「B'sCrew 3 Lite」をインストールする前に行う手順について説明します。

●［Iomega Driver］を停止する

本製品を正しく使うため、以下の作業を行ってください。

1　［機能拡張マネージャ］を起動します。

［Appleメニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］をクリックします。

2　［Iomega Driver］を停止します。

［Iomega Driver］を探し、横のチェックを外します。



●すでに「B'sCrew」をお使いの場合は

すでにお使いの「B'sCrew」のバージョンによって作業が異なります。

[バージョンの確認方法]

① B'sCrewを起動します。

② ［Appleメニュー］→［B'sCrew について］の順にクリックします。

③ 表示される画面内にバージョンが表示されています。

[バージョンによる作業の違いについて]

- **B'sCrew 2.xxをお使いの場合**

  【B'sCrew 2.xxを削除する】(40ページ)にてB'sCrew 2.xxを削除してください。

- **B'sCrew 3.xxをお使いの場合**

  次のページからのインストールは必要ありません。

  【使ってみよう】(29ページ)へお進みください。

B’s Crew 3 Liteをインストールしよう

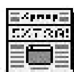
添付の「B’sCrew 3 Lite」をインストールする手順について説明します。

1 **Mac OSを起動します。**

2 **B’sCrew 3 LiteのCD-ROMをパソコンに挿入します。**

3 **［インストールの前に］を読みます。**

自動で開いた画面内の［インストールの前に］アイコンをダブルクリックし、開いて読みます。読み終わったら、閉じてください。



4 **［B’sCrew Lite Installer］を起動します。**

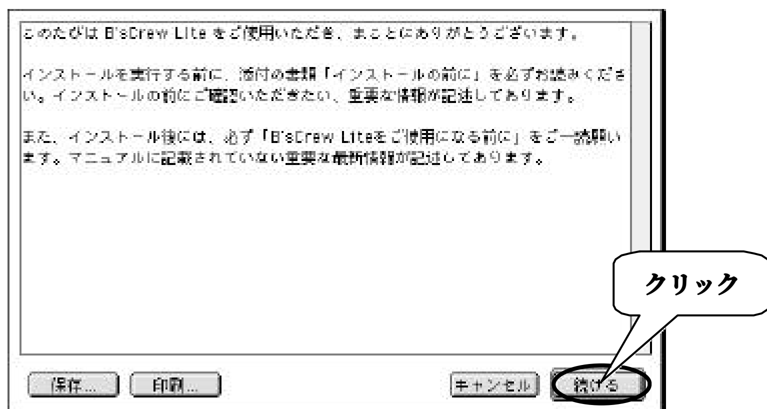
［B’sCrew Lite Installer］アイコンをダブルクリックします。



5 **［続ける］ボタンをクリックします。**

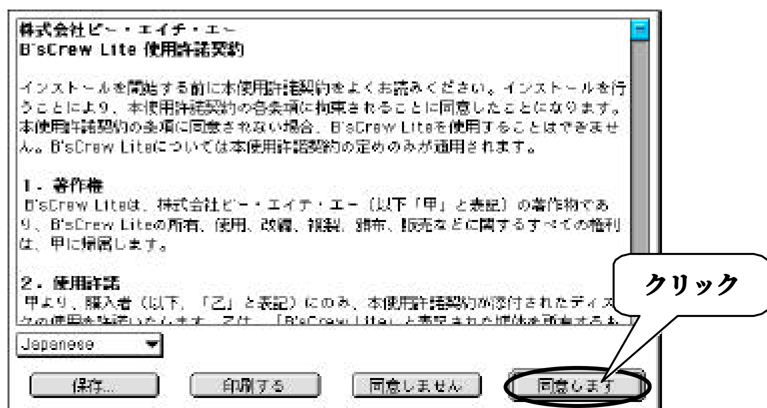


6 ［続ける］ボタンをクリックします。

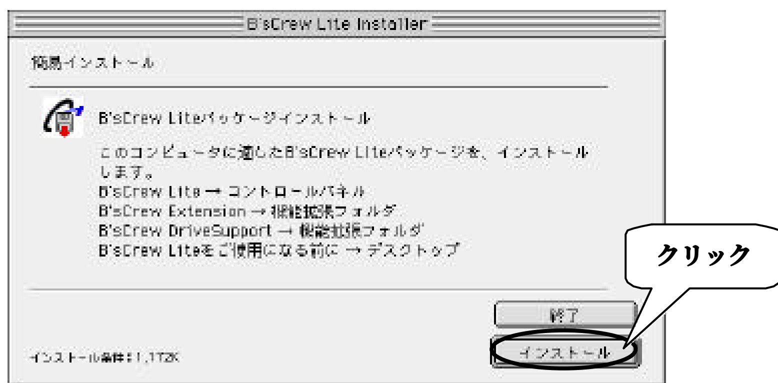


7 使用許諾契約を読み、同意するかどうかを決定します。

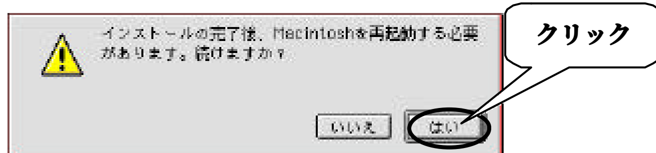
内容に同意するなら［同意します］ボタンをクリックします。
このインストールを行うには、使用許諾契約に同意する必要があります。



8　［インストール］ボタンをクリックします。

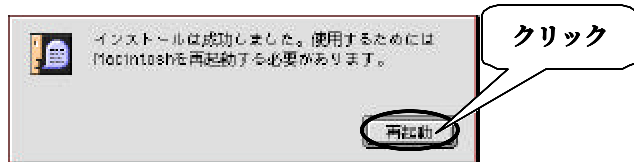


9　［はい］ボタンをクリックします。



10　［再起動］ボタンをクリックします。

⇒自動的に再起動されます。



11 ［B’sCrew Liteをご使用になる前に］を読みます。

再起動後、デスクトップ上にある［B’sCrew Liteをご使用になる前に］アイコンをダブルクリックし、開いて読みます。読み終わったら、閉じてください。



B’sCrew Liteをご使用になる前に

これでインストールは終了しました。

B’sCrew 2.xxをお使いだった方へ

B’sCrew 3 Liteをインストールした後、今まで使っていたハードディスクやMOディスクなどのドライバを更新する必要があります。
それぞれのドライブにて［ドライブウィザード］を起動し、［ドライバ更新］のみを［必要なので実行します］にして作業を行ってください。

ドライバの更新を行ってもMOディスク内のデータは消えることなく、そのままお使いいただけます。

MEMO

使ってみよう

ここでは本製品を使うための説明をします。

基本操作について	基本的な操作について説明します。(30ページ)
▼	
イニシャライズしよう	MOディスクをイニシャライズする方法を説明します。 (31ページ)

基本操作について

ここでは本製品の基本操作について説明します。

MOディスクを挿入する

1 **MOディスクの表側を上に向けてMOディスク挿入口へまっすぐにカチッと音がするまで入れます。**

2 **アクセスランプが点灯後、消えることを確認します。**

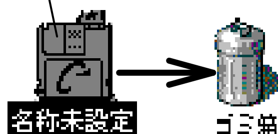
MOディスクを取り出す

以下の操作は、「B'sCrew 3 Lite」をインストール後に可能になります。

1 **本製品のアクセスランプが消えていることを確認します。**

2 **画面上のMOディスクのアイコンをごみ箱に移します。**

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない ⇒ 【MOディスクを取り出せない】(35ページ)をご覧ください。

イニシャライズしよう

MacintoshでイニシャライズされていないMOディスクを使用するには、フォーマッタソフトでイニシャライズを行う必要があります。
ここでは、添付の「B'sCrew 3 Lite」を使ったイニシャライズ方法を説明しています。

ここでの手順は参考例です。
実際に手順を行う際には、必ず「B'sCrew 3 Lite ユーザーズマニュアル」をご参照ください。
B'sCrewに関する質問・お問い合わせは
「B'sCrew 3 Liteユーザーズマニュアル」をご参照になり、ビー・エイチ・エー社までお問い合わせください。

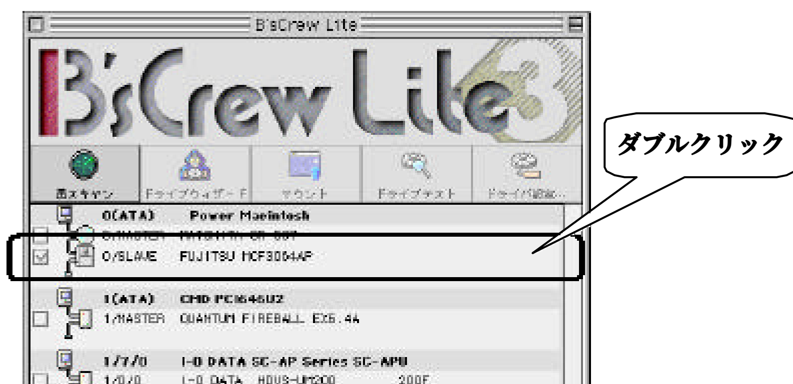
1 B'sCrewを起動します。

［Appleメニュー］→［コントロールパネル］→［B'sCrew Lite］の順にクリックします。

2 イニシャライズをするMOディスクを本製品にセットします。

3 本製品のドライブをダブルクリックします。

本製品のドライブは［FUJITSU MCF3064AP］と表示されます。



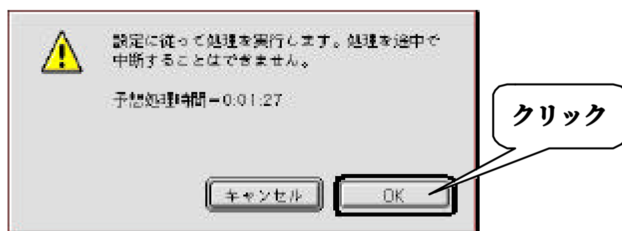
4 ▷ボタンをクリックします。



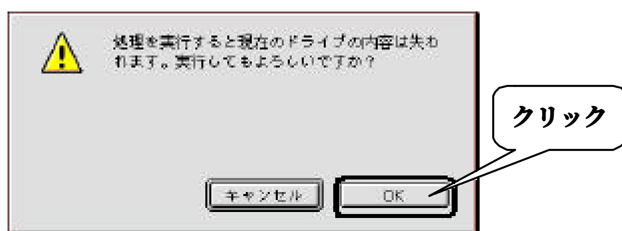
5 ［実行］ボタンをクリックします。



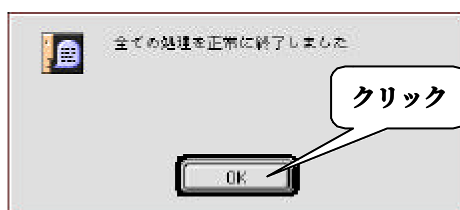
6　［OK］ボタンをクリックします。



7　［OK］ボタンをクリックします。



8　［OK］ボタンをクリックします。



以上で、イニシャライズは終了です。
ここまでの手順で名称未設定のドライブアイコンがデスクトップ上に表示されます。

MEMO

付録

困ったときには

本製品を使用中に、異常があったときにご覧ください。(36ページ)

ケーブル接続時の注意事項

ケーブルを接続するときの注意事項について説明します。(39ページ)

B'sCrew 2.xxを削除する

B'sCrew 2.xxの削除方法について説明します。(40ページ)

ハードウェア仕様

本製品の仕様を説明します。(42ページ)

困ったときには

使用中にデータエラーが発生する

原因 **本製品のヘッドレンズが汚れている**

市販の専用ヘッドクリーナ［富士通製 光磁気ディスククリーニングカートリッジ（商品番号 0240470）］を使用して、本製品のヘッドレンズのクリーニングを行ってください。

フォーマットや書き込み作業中に処理が中断される

原因 **長時間の使用により高温になり、安全装置が働いた**

システムを終了してパソコン本体の電源を切り、本製品が冷えるまでしばらくお待ちください。

MOディスクにファイルの書き込みができない

原因 **MOディスクがライトプロテクトされている**

MOディスクのライトプロテクトを解除してから、ファイルを書き込んでください。ライトプロテクトについては、MOディスクの説明をご覧ください。

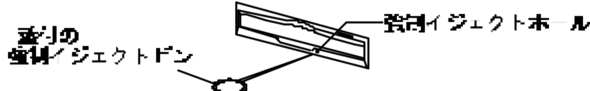
MOディスクを取り出せない

原因　**機械的な故障や、その他の理由で取り出せない**

パソコンの電源を切り、パソコンの電源ケーブルを取り外します。

添付の強制イジェクト・ピンを強制イジェクト・ホールに約25mmほど差し込むとイジェクトします。

※　これは、緊急時の操作です。
　　むやみにご使用になると故障の原因となります。
　　この操作で取り出せない場合は、無理に引き出さず、弊社修理係にご依頼ください。



パソコンが起動しない

原因　**取り付け方法が正しくない**

取り付け方法を確認してください。
（【取り付けよう】(13ページ)参照）

Appleシステムプロフィールで本製品がCD-ROMとして認識される

原因　**Appleシステムプロフィールの仕様のため**

本製品がCD-ROMとして認識されてしまうのは仕様です。
問題無くお使いいただけますので、ご安心ください。

MOディスクから起動できない

原因１ **Power Mac G4,G3(Blue and White)シリーズでは640MバイトのMOディスクから起動できない**

Power Mac G4,G3(Blue and White)シリーズでは、640MバイトのMOディスクで起動できません。

原因２ **入れたMOドライブにあったドライバが入っていない**

B'sCrew 3 Liteでは、SCSIやATAPIのドライブの種類によって入るドライバが異なります。そのため、異なるドライブでイニシャライズしたMOディスクでは起動できない場合があります。その際は、起動したいMOドライブにて「ドライバ更新」を行うと起動できるようになります。

540MバイトのMOディスクにDisk First Aidを実行すると重度のエラーが報告される(Mac OS 8.5.1のみ)

原因 **Disk First Aidの仕様である**

「Mac OS拡張フォーマットでイニシャライズした540MバイトのMOディスク」に「Mac OS 8.5.1に付属しているDisk First Aid」を実行すると重度のエラーが報告されます。
問題ありませんので、そのまま修復せずにお使いください。
なお、この問題はMac OS 8.6以降では発生しません。

ケーブル接続時の注意事項

ここでは、ケーブルを接続するときの注意事項について説明します。

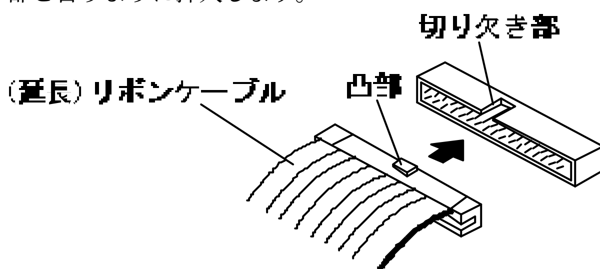
<u>**接続するときは、下の説明をご覧になってケーブルの向きにご注意ください。**</u>

ケーブルのコネクタは逆向きだと差し込めないようになっていますが、無理に差し込もうとすると、ケーブルおよび接続先のコネクタを破壊するおそれがあります。

> **下の図は参考例です**
> **これらのケーブルやコネクタの図は実際の物と異なる場合があります。**
> **ご了承ください。**

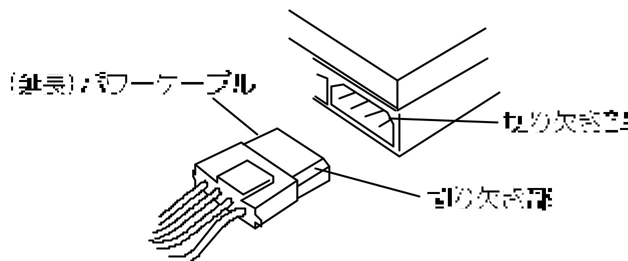
(延長) リボンケーブルの場合

(延長) リボンケーブルのコネクタの中央にある凸部が、接続するコネクタの切り欠き部と合うように挿入します。



(延長) パワーケーブルの場合

(延長) パワーケーブルのコネクタの切り欠き部分と、接続するコネクタの切り欠き部分が合うように挿入します。



B’sCrew 2.xxを削除する

ここではB’sCrew 2.xxの削除方法について説明します。

B’sCrew 2.xxをお使いの方へ

B’sCrew 2.xxを削除した場合、「パーティション編集」、「パスワード設定」、「ドライブコンベヤー」、「ベンチマーク測定(B’sTime)」の機能が使えなくなります。予めご了承ください。

例1)B’sCrew 2.xxでは、「パーティション編集」にてパーティションの削除が可能でしたが、B’sCrew 3 Liteではパーティションの削除機能はないため、削除するためにはMOディスク全体をフォーマットをすることになります。

例2)B’sCrew 2.xxでは、「パーティション編集」にてパーティションの新規作成や容量変更が可能でしたが、B’sCrew 3 Liteではパーティションの編集機能はないため、イニシャライズ時に「カスタムパーティション(自由に設定)」を選択することで編集してください。

※フォーマットやイニシャライズを行うと、MOディスクのデータは削除されます。

1 システムディスクを開きます。

B’sCrew 2.xxをインストールしたOSのシステムディスクを開きます。

2 ［B’sCrew］(［B’sCrew 2.x］)フォルダを削除します。

システムディスク内にある［B’sCrew］(［B’sCrew 2.x］)フォルダをごみ箱に捨てます。

3 ［システムフォルダ］を開きます。

システムディスク内にある［システムフォルダ］をダブルクリックし、開きます。

⇒この中に［機能拡張］、［コントロールパネル］、［初期設定］があります。

4 ［機能拡張］内の関連ファイルを削除します。

［B’sCrew DriveSupport］、［B’sCrew Extension］をごみ箱に捨てます。

5 ［コントロールパネル］内の関連ファイルを削除します。

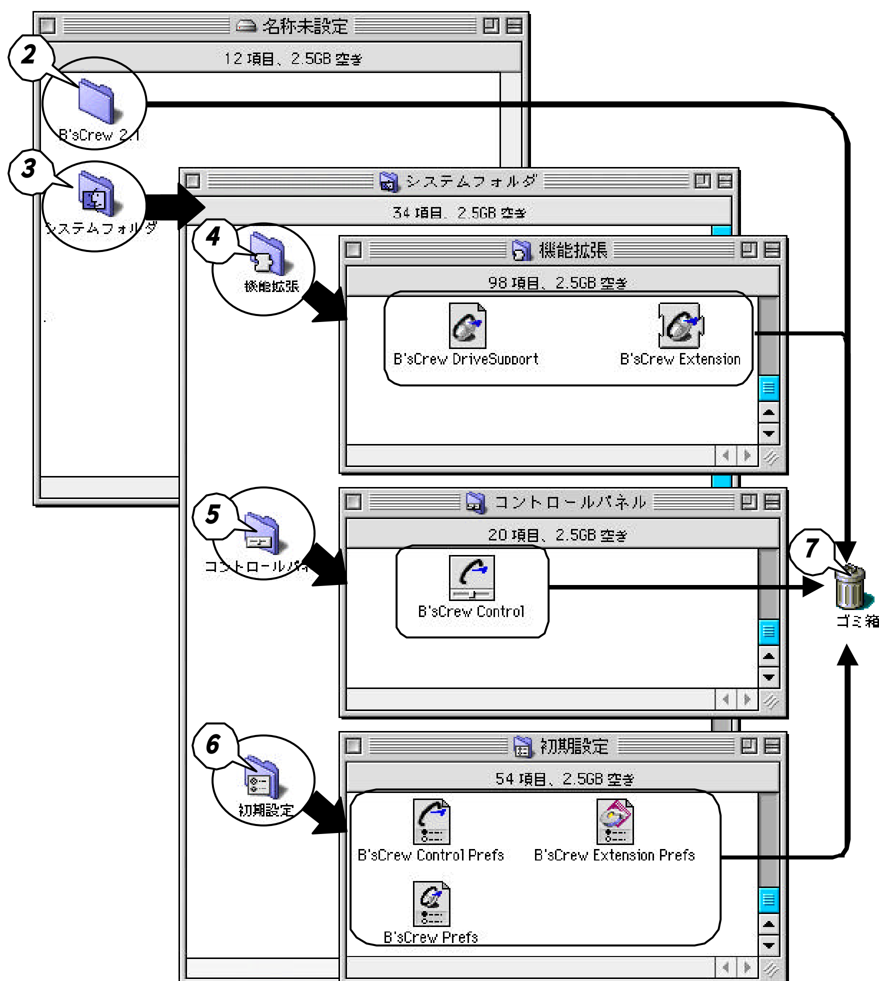
［B’sCrew Control］をごみ箱に捨てます。

6　［初期設定］内の関連ファイルを削除します。

［B'sCrew Control Prefs］、［B'sCrew Extension Prefs］、［B'sCrew Prefs］をごみ箱に捨てます。

> **関連ファイルについて**
> ［初期設定］内の関連ファイルは、お使いの環境によっては無い場合があります。その場合、上記の内、存在するファイルを削除してください。

7　パソコンを再起動し、「ゴミ箱を空に」します。



ハードウェア仕様

インターフェイス仕様（最大）	16.6Mバイト/sec
使用可能MOディスク	128/230※/540※/640※Mバイト
セクタサイズ	・128/230/540MバイトのMOディスクは512バイト ・640MバイトのMOディスクは2048バイト
シークタイム（平均）	23ms
MOディスク回転数	3600rpm
データ転送速度(最大)	3.92Mバイト/sec
バッファサイズ	2Mバイト
動作温度	+5℃～+35℃(パソコンの動作する範囲であること)
動作湿度	20%～80%（ただし結露なきこと）
消費電流	2.5A (MAX)
本体サイズ	102(W) X 150(D) X 25(H) mm
本体質量	約470g

※ オーバーライト対応ディスクを含む。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせ

弊社サポートセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

《連絡方法》

■オンライン

インターネット	**http://www.iodata.co.jp/support/** **「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを使用してメールをお送りください。**
@nifty	**アイ・オー・データステーション(SIODATA)サポート会議室**

■郵便

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地　アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「MOF-AB640S/G」係 宛

■電話・FAX

電話番号	**本社　076-260-3688　東京　03-3254-1095**
電話受け付け時間	**9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)**
FAX番号	**本社　076-260-3360　東京　03-3254-9055**

弊社製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

B'sCrew 3 Liteに関するお問い合わせ

B'sCrew 3 Liteに関するお問い合わせ

B'sCrew 3 Liteに関しては、株式会社 ビー・エイチ・エーまでお問い合わせください。

●お問い合わせ先

株式会社ビー・エイチ・エー　サポートセンター

TEL　06-6378-4019
FAX　06-6378-3336

受付時間：月～金曜日　10:00～12:00　13:00～17:00
（夏期・年末年始特定休業日、祝祭日を除く）

B'sCrew 3 Liteのバージョンアップ

ビー・エイチ・エー社製 「B'sCrew 3 Lite」のバージョンアップサービスは弊社では行っておりません。

バージョンアップをご希望の場合は添付の「ビー・エイチ・エー社　ユーザー登録ハガキ」にてユーザー登録を行ってください。

また、㈱ビー・エイチ・エー社のホームページでもバージョンアップができます。

㈱ビー・エイチ・エー社のホームページ
http://www.bha.co.jp/

保証について

◎保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。お送りいただいた製品を検査後、有償となる場合のみ往復ハガキにて修理金額をご案内いたします。修理するか否かを送られてきた往復ハガキにご記入の上、ご返送ください。
　また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
　詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

◎保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失および破損。
・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼頂くか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

● 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。

● 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

● 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
◇保証書がない場合
◇保証書の所定事項が未記入の場合
◇電源ONで挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
◇落雷などの事故による破損の場合
◇本製品を改造した場合

● 保証期間後は有償で修理いたします。
製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。
これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

● 修理品送付先

住所　**〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル**
株式会社アイ・オー・データ機器
「MOF-AB640S/G」修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

● サービス窓口
申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。

電話番号　**金沢**　**076-260-3663**
受付時間　**9:30～12:00　13:00～17:00**
月～金曜日（祝祭日を除く）